

平成11年度の渡島支庁管内・檜山支庁管内市町村教育委員会主催の「絵画関係講座」に関する調査

著者	野崎 嘉男
雑誌名	北海道浅井学園大学生涯学習システム学部研究紀要
巻	1
ページ	109-126
発行年	2001
URL	http://id.nii.ac.jp/1136/00000682/

平成11年度の渡島支庁管内・檜山支庁管内 市町村教育委員会主催の「絵画関係講座」に関する調査

Survey on Public Seminars Focused on Paintings and Drawings Organized
by Municipalities in Oshima and Hiyma Sub-prefecture in FY 1999

野 崎 嘉 男

Yoshio NOZAKI

I は じ め に

この調査報告は北海道女子大学短期大学部（現北海道浅井学園大学短期大学部）研究紀要第36号（平成11年3月発行）の平成9年度空知支庁管内27市町村教育委員会主催の「絵画関係講座」、同第38号（平成12年3月発行）の平成10年度留萌支庁管内9市町村と宗谷支庁管内10市町村教育委員会主催の「絵画関係講座」に関する調査報告に次ぐ第3報である。

今回は北海道の道南圏に位置する渡島支庁管内17市町村と檜山支庁管内10町を対象に調査したものである。

すでに第1報で述べたとおり、平成8年に北海道が発表した「道民の生涯学習に関する意識調査報告書」では、道民の学習してみたい生涯学習の内容は「健康スポーツ」が64.5%、「趣味的なもの」が60.8%とこの二つが圧倒的に多い調査結果がでた。また目的については「趣味を豊にする」が65.8%、「健康・体力づくり」が52.4%、「老後の人生を有意義に」が52.3%、「他人との親睦を深める」が52.0%の順になっている。これらの調査結果や現況などをふまえ北海道は平成8年に北海道生涯学習審議会を設け、次のような生涯学習推進施策の方向を打ち出した。

- (1) 道民の生涯学習の関心が着実に高まっていることから、人々の学習意欲を充足させることのできる、より幅広い学習の機会の提供が必要である。
- (2) 高等教育機関の社会人入学や公開講座の受講希望が多いことから、全道的な体制づくりが必要である。
- (3) 学習したくてもできない原因があることから、これらについての解決方策について検討する必要がある。
- (4) 生涯学習を通して身につけた知識や技能などを、社会的に活用する方策について検討する必要がある。

この中の、(1)についての部分『…人々の学習意欲を充実させることのできる、より幅広い学習の機会の提供が必要である』ところに焦点をあて、趣味を豊かにする領域の一つでもある文化活動としての「絵画関係講座」が、前述したような北海道の生涯学習の積極的な取り組みに呼応して、道内の各市町村教育委員会が心の豊かさを求める住民のニーズにどのように連動し

ているかの調査を実施し、第1報では道央圏の空知支庁管内27市町村の状況を、第2報では道北圏の留萌支庁管内と宗谷支庁管内19市町村の状況を報告することができた。

今回の調査の目的は①渡島支庁管内および檜山支庁管内市町村主催の「絵画関係講座」の開設状況を把握すること②住民のニーズに応えた受講者状況を把握すること③担当指導者の現況を把握すること④他支庁管内各市町村教育委員会の多面的な対応状況を把握し、比較検討すること⑤私は油彩絵画を専門とする美術家であるが、生涯学習の観点から今後の学生への絵画指導上の基礎的資料を得ることにある。

今回で北海道14支庁管内の内5支庁管内（空知・留萌・宗谷・渡島・檜山）の状況を調査することができたが、以後順次他支庁管内市町村教育委員会を対象にして同様な調査を実施して、北海道全域の状況を検分することを念頭に置いている。

II 調査方法

調査対象は自治体の生涯学習の担当部署である渡島支庁管内17市町村（1市15町1村）教育委員会および檜山支庁管内10町教育委員会にした。担当部署の名称も渡島支庁管内では社会教育課が10、生涯学習課が4、社会教育係が2、生涯学習部が1という状況であった。檜山支庁管内では社会教育課が9、生涯学習課が1という状況であった。

6月16日付けの文書で調査の依頼をしたが、9月末日までに渡島支庁管内と檜山支庁管内の合計27市町村教育委員会全てから回答を得ることができた。

調査はアンケート式とした。対象市町村名は次のとおりである。

渡島支庁管内

市部…函館市（1市）

町部…恵山町、大野町、長万部町、上磯町、木古内町、鹿部町、知内町、砂原町、戸井町、七飯町、福島町、松前町、南茅部町、森町、八雲町（以上15町）

村部…檜法華村（1村）

檜山支庁管内

町部…厚沢部町、今金町、江差町、奥尻町、乙部町、上ノ国町、北檜山町、熊石町、瀬棚町、大成町（以上10町）

※市町村名は50音順

III 結果および考察

1. 平成11年度の渡島支庁管内市町村および檜山支庁管内市町村教育委員会主催の「絵画関係講座」開設の有無

(1) 渡島支庁管内

渡島支庁管内17市町村での「絵画関係講座」開設の有無は表1-1のように開設した市町村が8、開設しなかった町が9であり、開設したのは全体の半数を割った。市町村別にみると市

が1市で1, 町が15町のうち6, 村が1村で1の状況であった。

開設しなかった町が9であったが、そのうち回答を寄せてくれた7町からの理由は次のようなものであった。

『当町では、講座開設にあたり町民に対して調査を行い、少しでもニーズに応えるべく実施しております。調査の結果「絵画講座」の実施には至らなかったものの、当町ではサークルを中心に活動しているため、今後、声が掛ければ実施してみたいと考えております』(木古内町), 『年度ごとに講座の実施内容が変わるため。文化団体のサークルの中に水彩画のサークルがある。平成10年度であれば、公民館講座として日本画を行なったことがある』(大野町), 『要望がないため。サークル活動で対応』(福島町), 『平成12年度においては、水墨画を開設することになっている。今後は、町に文化の香りを広げるため、ぜひ水彩画, 版画等の講座を開設したい』(恵山町), 『特になし』(長万部町, 砂原町, 松前町) というように開設しなかった理由をみるかぎり①住民の声があれば実施したい②絵画サークル活動で対応している③平成12年度は実施している④過去に開設している⑤特になしなどと、住民のニーズがあればいつでも実施できる条件が整っていることが読み取れた。また一部の教育委員会の積極的な姿勢もうかがわれた。住民に対しての啓蒙活動を引き続き行ない、ニーズが高まることを期待したい。

(2) 檜山支庁管内

檜山支庁管内10町での「絵画関係講座」開設の有無は表1-2のように開設した町が3, 開設しなかった町が7であり、開設したのは全体の3割にとどまった。

開設しなかった町が7であったが、そのうち回答を寄せてくれた5町村からの理由は次のようなものであった。

『当町に適切な指導者がいないため。講座受講者の材料等の経費負担が比較的多いため』(瀬棚町), 『サークルにおける自主的な教室開催等を支援』(今金町), 『学習要求がほとんどないため』(大成町), 『特になし, 陶芸, 七宝焼に住民が興味を持っているので, そちらの方を重点に実施している』(乙部町), 『特になし』(奥尻町, 上ノ国町, 北檜山町) というように開設しなかった理由をみるかぎり①学習要求がない②適切な指導者がいない③受講者の経費負担が多い④サークルの活動を支援している⑤工芸講座のニーズに対応しているなどと、開設できない要因が各町で異なっていることがわかった。乙部町のように住民の興味, ニーズに対応して工芸分野の陶芸や七宝焼の講座に重点を置いている町があることは好ましいことである。指導者不足は町村の場合は特に深刻な課題のようだ。第2報でも述べたが、近隣市町村との指導者相互の

表1-1 渡島支庁管内17市町村の「絵画関係講座」開設の有無

市町村数	開設した	開設しなかった
1市	1	—
15町	6	9
1村	1	—
合計 17	8	9

表1-2 檜山支庁管内10町の「絵画関係講座」開設の有無

市町村数	開設した	開設しなかった
—	—	—
10町	3	7
—	—	—
合計 10	3	7

ネットワークづくりを奨励したい。現職、退職者含めて美術分野の教員に協力を要請するのも、一つの方法だと考える。経費負担が多いことがあげられていたが、教育委員会の援助を前提にして、適正な参加費を受講者が負担することは、他管内市町村では定着しているように思われる。

2. 開設した講座の分野（領域）

(1) 渡島支庁管内

開設した講座の分野（領域）は表2-1のように「油絵」（上磯町、知内町、南茅部町、八雲町）、「水彩画」（函館市、七飯町）、「版画」（函館市）、「トールペイント」（戸井町）、「柄つけ（陶芸）」（樫法華村）の5分野であった。函館市と七飯町が「水彩画」講座をそれぞれ3講座開設していた。8市町村5分野での講座合計は13講座であった。

(2) 檜山支庁管内

開設した講座の分野（領域）は表2-2のように「水彩画」（江差町）、「墨絵」（江差町）「絵手紙」（江差町、厚沢部町、熊石町）の3分野であった。江差町が「水彩画」「墨絵」、「絵手紙」の3講座を開設していた。特に江差町の講座取り組みの積極性がうかがわれた。3町3分野での講座合計は5講座であった。5講座中「絵手紙」が3講座を占めたのが注目された。最近「絵手紙」関連の講座が各地で多く開催されている傾向にあるようだが、住民も敏感に反応し、興味を示していることがうかがわれた。日常生活の中で気軽に活用、応用できる絵画表現の一つとして、今後拡大していくものと思われる。

表2-1 渡島支庁管内8市町村で開設した講座の分野（領域）

分野（領域）	開設市町村数	講座名（市町村名）
油絵	4	油絵講座（上磯町）、公民館講座：油絵教室（知内町）、絵画教室（南茅部町）、公民館生涯学習講座：絵画教室（八雲町）
水彩画	6	小学生の絵画教室（函館市）、色を作って絵を描こう（函館市）、植物画を描こう（函館市）、水彩画講座1（七飯町）、水彩画講座2（七飯町）、水彩画講座3（七飯町）
版 画	1	スケッチと版画教室（函館市）
トールペイント	1	公民館講座：トールペイント教室（戸井町）
柄付け（陶芸）	1	柄付け教室（樫法華村）
計	13	

表2-2 檜山支庁管内3町で開設した講座の分野（領域）

分野（領域）	開設市町村数	講座名（市町村名）
水彩画	1	シニアカレッジ講座：水彩画体験コース（江差町）
墨絵	1	シニアカレッジ講座：墨絵入門（江差町）
絵手紙	3	シニアカレッジ講座：絵手紙（江差町）、絵手紙（厚沢部町）、絵手紙講座（熊石町）
計	5	

3. 開設した講座の月

(1) 渡島支庁管内

開設した講座の月については表3-1のように4月が0、5月が4講座、6月が7講座、7月が7講座、8月が5講座、9月が6講座、10月が5講座、11月が5講座、12月が4講座、1月が3講座、2月が5講座、3月が3講座となっていて、6月と7月が7講座と他の月と比較すると多くなっていた。講座数こそ多くはないが4月を除いてほぼ年間をとおして開設されていることは講座の展開としては好ましい傾向といえる。

(2) 檜山支庁管内

開設した講座の月については表 3-2 のように 4 月が 0、5 月から 2 月まで 1 講座、3 月が 0 であった。全体としても 5 講座しか開設していないので少ないのは当然といえる。

表3-1 渡島支庁管内8市町村で開設した講座の月

[illegible]

表3-2 檜山支庁管内3町で開設した講座の月

[illegible]

4. 開設した講座の期間（日数）

(1) 渡島支庁管内

開設した講座の期間（日数）については表4-1のように1日間から22日間までと、講座の内容によって幅があった。「色を作って絵を描こう」（函館市）が1日間で最も短く、「油絵講座」（上磯町）が22日間と最も長かった。10日間が「水彩画講座」（七飯町）の3講座で、2日間、3日間、4日間、6日間、11日間、13日間、14日間、18日間、22日間がそれぞれ1講座であった。油絵、水彩画、スケッチと版画など純粋絵画関連講座については、一講座の時間との関連もあるが、常識的に必要な日数を確保していることがわかった。適正な期間設定といえる。

(2) 檜山支庁管内

開設した講座の期間（日数）については表4-2のように2日間から6日間までとなっていた。開設された5講座中、「絵手紙」（厚沢部町）、「墨絵入門」（江差町）、「絵手紙」（江差町）の3講座が2日間であった。講座の内容にもよるが「墨絵入門」講座などは、もう少し日数がとればよいのではないかと感じた。

表4-1 渡島支庁管内8市町村で開設講座の設定期間

設定期間	講 座 名（市町村名）
1日間	色を作って絵を描こう（函館市）
2日間	趣味講座：柄つけ教室（樫法華村）
3日間	植物画を描こう（函館市）
4日間	公民館講座：油絵教室（知内町）
6日間	公民館講座：トールペイント（戸井町）
10日間	水彩画講座1、2、3（七飯町）
11日間	絵画教室（南茅部町）
13日間	スケッチと版画教室（函館市）
14日間	公民館生涯学習講座：絵画講座（八雲町）
18日間	小学生の絵画教室（函館市）
22日間	油絵講座（上磯町）

表4-2 檜山支庁管内3町での開設講座の設定期間

設定期間	講 座 名（市町村名）
2日間	絵手紙（厚沢部町）
	シニアクラブ講座：墨絵入門（江差町）
	シニアクラブ講座：絵手紙（江差町）
5日間	絵手紙講座（熊石町）
6日間	シニアクラブ講座：水彩画体験コース（江差町）

5. 開設した講座の時間

(1) 渡島支庁管内

開設した講座の一日の実時間については表5-1のように2時間から最高6時間までであった。2時間というのが最も多く8講座、2時間30分、3時間、6時間がそれぞれ1講座であった。1日で完了するような特別な講座の場合を除くと、通常1回の講座時間は2～3時間程度が適切な時間といえる。

(2) 檜山支庁管内

開設した講座の一日の実時間については表5-2のように5講座全てが2時間であった。渡島支庁管内の状況と大差がなかった。

表5-1 渡島支庁管内8市町村で開設講座の設定時間

設定時間	講 座 名 (市町村名)
2時間	小学生の絵画教室 (函館市)
	スケッチと版画教室 (函館市)
	油絵教室 (上磯町)
	公民館講座：油絵講座 (知内町)
	公民館講座：トルペイト教室 (戸井町)
	水彩画講座1、2、3 (七飯町)
	絵画教室 (南茅部町)
	趣味講座：柄つけ教室 (楡法華村)
2時間30分	公民館生涯学習講座：絵画教室 (八雲町)
3時間	色を作って絵を描こう (函館市)
6時間	植物画を描こう (函館市)

表5-2 檜山支庁管内3町での開設講座の設定時間

設定時間	講 座 名 (市町村名)
2時間	絵手紙 (厚沢部町)
	シニアカルツ講座：水彩画体験コース (江差町)
	シニアカルツ講座：墨絵入門 (江差町)
	シニアカルツ講座：絵手紙 (江差町)
	絵手紙講座 (熊石町)

6. 開設した講座の時間帯

(1) 渡島支庁管内

開設した講座の時間帯については表6-1のように午前中が13講座中6講座、正午から午後6時までが5講座、午後6時から午後9時までが3講座であった。やはり、午前から午後6時にかけての講座が受講しやすい時間帯であることがうかがえる。当然、主婦層の参加が多くなる傾向にある。

表6-1 渡島支庁管内8市町村開設講座の時間帯

講 座 名 (市町村名)	時 間 帯		
	午前中	正午～午後6時	午後6時～午後9時
小学生の絵画教室 (函館市)		○	
スケッチと版画教室 (函館市)		○	
色を作って絵を描こう (函館市)		○	
植物画を描こう (函館市)	○	○	
油絵教室 (上磯町)			○
公民館講座：油絵教室 (知内町)			○
公民館講座：トルペイト教室 (戸井町)	○		
水彩画講座1、2、3 (七飯町)	○		
絵画教室 (南茅部町)	○		
公民館生涯学習講座：絵画教室 (八雲町)		○	
趣味講座：柄つけ教室 (楡法華村)			○

(2) 檜山支庁管内

開設した講座の時間帯については表6-2のように午前中が5講座中3講座、正午から午後6時までは0、午後6時から午後9時までが2講座であった。渡島支庁管内とはほぼ同様な状況であることがわかった。

表6-2 檜山支庁管内3町での開設講座の時間帯

講 座 名 (市町村名)	時 間 帯		
	午前中	正午～午後6時	午後6時～午後9時
絵手紙 (厚沢部町)			○
シニア講座：水彩画体験コース (江差町)	○		
シニア講座：墨絵入門 (江差町)	○		
シニア講座：絵手紙 (江差町)	○		
絵手紙講座 (熊石町)			○

7. 開設した講座の受講者数と男女の割合

(1) 渡島支庁管内

開設した講座の受講者数と男女の割合は表7-1のように開設13講座の受講者数の総計は189人であった。内訳は男性が35人、女性が154人であり全体の18.5%が男性で、81.5%が女性

表7-1 渡島支庁管内8市町の受講者数と男女の割合・年代

※－ 回答なし、不明

講 座 名 (市町村名)	男	女	計	4歳	10	20	30	40	50	60	70	80
				9歳	代	代	代	代	代	代	代	代
小学生の絵画教室 (函館市)	13	7	20	13	7	0	0	0	0	0	0	0
スケッチと版画教室 (函館市)	2	14	16	0	0	0	0	2	7	4	3	0
色を作って絵を描こう (函館市)	3	12	15	14	1	0	0	0	0	0	0	0
植物画を描こう (函館市)	1	14	15	0	0	0	0	5	6	4	0	0
油絵教室 (上磯町)	4	12	16	0	0	0	1	6	4	4	1	0
公民館講座：油絵教室 (知内町)	3	5	8	0	0	0	0	3	5	0	0	0
公民館講座：トールペイント教室 (戸井町)	0	13	13	0	0	0	5	5	2	1	0	0
水彩画講座1 (七飯町)	6	15	21	0	1	1	2	5	5	6	1	0
水彩画講座2 (七飯町)	1	16	17	0	0	0	2	6	6	2	1	0
水彩画講座3 (七飯町)	2	12	14	0	0	1	2	6	2	2	1	0
絵画教室 (南茅部町)	0	12	12	0	0	0	0	0	12	0	0	0
公民館講座生涯学習講座：絵画教室 (八雲町)	0	11	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-
趣味講座：柄つけ教室 (楳法華村)	0	11	11	0	0	1	1	6	2	1	0	0
合計	35	154	189	27	9	3	13	44	51	24	7	0

で他の管内同様に圧倒的に女性の受講者が多い状況にある。

(2) 檜山支庁管内

開設した講座の受講者数の男女の割合は表7-2のように開設5講座の受講者の総計は109人であった。内訳は男性が2人、女性が107人であり全体の1.8%が男性で、98.2%が女性であり渡島支庁管内と同様、圧倒的に女性が多い状況にある。数字から見る限り女性の方が積極的に余暇時間を有効活用している状況がうかがえる。

渡島支庁管内、檜山支庁管内とも第2報で報告した留萌支庁管内の女性の73%、宗谷支庁管内の女性の73.6%を大きく上回り、女性の講座受講の活発さを示している。

表7-2 檜山支庁管内3町の受講者数と男女の割合・年代

※- 回答なし

講 座 名 (市町村名)	男	女	計	4歳 9歳	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代
絵手紙 (厚沢部町)	0	10	10	2	0	0	4	3	1	0	0	0
シニア講座：水彩画体験コース (江差町)	0	30	30	0	0	0	0	0	0	20	10	0
シニア講座：墨絵入門 (江差町)	0	30	30	0	0	0	0	0	3	23	4	0
シニア講座：絵手紙 (江差町)	0	22	22	0	0	0	0	0	3	18	1	0
絵手紙講座 (熊石町)	2	15	17	0	0	0	0	17	0	0	0	0
合 計	2	107	109	2	0	0	4	20	7	61	15	0

8. 受講者の年代

(1) 渡島支庁管内

受講者の年代については男女別には区分しなかったが、表7-1のように10歳以下（4歳から9歳）が27人、10代が9人、20代が3人、30代が13人、40代が44人、50代が51人、60代が24人、70代が7人、80代が0となっている。40代から70代までで126人と全体の66.7%を占めている。特にその中でも50代が多い。一般的には子育てにも一区切りがつき、家庭生活にも時間的、経済的なゆとりができて自らの生きがいづくりを意識し、生涯学習の視点に立って積極的に講座に参加している人たちが少しずつ増えてきていると判断したい。

(2) 檜山支庁管内

受講者の年代については男女別には区分しなかったが、表7-2のように10歳以下（4歳から9歳）が2人、10代が0、20代が0、30代が4人、40代が20人、50代が7人、60代が61人、70代が15人、80代が0となっている。年代については40代から70代が全体の94.5%を占めている。渡島支庁管内に比較すると60代、70代の高齢者の受講者が多くなっている。講座数こそ少ないが中でも「墨絵入門」や「水彩画」などの講座に人気が集まっていることに注目したい。油絵などと異なり、簡便な用具材料で制作ができ、しかも生活の中で即応活用できるところが魅力になっているようだ。住民のニーズと教育委員会の企画とがマッチした結果と思われる。

9. 講座の担当指導者

(1) 渡島支庁管内

講座の担当指導者については表8-1のように13講座のうち8講座(61.5%)が「地元専門家」、3講座(23.1%)が「他町村専門家」、1講座(7.6%)が「主催教育委員会職員」、「地元教職員」が担当していた。第1報、第2報でも述べたことであるが地元絵画関係講座を担当できる専門家がいることが最も望ましいことである。また、函館市の「色を作って絵を描こう」の講座のように主催教育委員会の職員が指導することができれば、理想的な指導体制といえる。21世紀の生涯学習社会に対応していくためには、教育委員会に関係講座を担当可能な職員が複数いることが必要になってくるのではないかと考える。ただし、分野ごとに専門職員を配置することは極めて難しい。一つの対策として、近い将来、生涯学習関連事業をできるだけ幅広く企画・立案、組織・運営、管理・評価できる総合能力を身につけた生涯学習支援者を配置することが考えられる。そして、単独で講座を担当するか、地元や近隣市町村在住の専門家と協力体制をとって講座を担当することを強く望みたい。

表8-1 渡島支庁管内8市町村での講座の担当指導者

市町村名	講座名	主催教育委員会職員	地元専門家	他市町村専門家	その他
函館市	小学生の絵画教室		○		
	スケッチと版画教室		○		
	色を作って絵を描こう	○			
	植物画を描こう		○		
上磯町	油絵教室		○		
知内町	公民館講座：油絵教室			○	
戸井町	公民館講座：トールペイント教室			○	
七飯町	水彩画講座1、2、3		○		
南茅部町	絵画教室		○		
八雲町	公民館生涯学習講座：絵画教室				地元教職員
樫法華村	趣味講座：柄つけ教室			○	

(2) 檜山支庁管内

講座の担当指導者については表8-2のように5講座のうち1講座(20%)が「主催教育委員会職員」、1講座(20%)が「他町の専門家」、3講座(60%)が「その他」で退職教員、高校教員が担当していることがわかった。渡島支庁管内と同様に1講座は主催教育委員会職員が担当していたが、指導者がいることを前提に講座を企画していることがうかがわれる。好まし

いことである。3 講座を退職教員、現職教員が担当していたが、小・中学校、高等学校の現職教員、また退職教員に協力をお願いすることは、今後開設講座の間口を広める対策としては大きな効果がありそうだ。近隣市町村の専門家との協力連携とあわせて、積極的に教育現場にも働き掛けて、住民のニーズに対応できる指導者の確保推進を強く望みたい。

表8-2 檜山支庁管内3町での講座の担当指導者

市町村名	講座名	主催教育委員会職員	地元専門家	他市町村専門家	その他
厚沢部町	絵手紙			○	
江差町	シニア講座：水彩画体験コース	○			
	シニア講座：墨絵入門				退職教員
	シニア講座：絵手紙				退職教員
熊石町	絵手紙講座				高校教員

10. 講座終了後の発表会開催の有無

(1) 渡島支庁管内

講座終了後の作品発表会開催の有無については表9-1のように8市町村13講座のうち函館市、戸井町、七飯町、南茅部町、八雲町5市町が開催していた。発表会の会場は市役所市民ホ

表9-1 渡島支庁管内8市町村での講座終了後の作品発表会の有無と会場

市町村名	講座名	発表会有無	会場
函館市	小学生の絵画教室	○	函館市役所市民ホール
	スケッチと版画教室	○	函館市役所市民ホール
	色を作って絵を描こう	○	市立函館博物館
	植物画を描こう	○	市立函館博物館
上磯町	油絵教室	×	
知内町	公民館講座：油絵講座	×	
戸井町	公民館講座：トールペイント教室	○	隣市デパート
七飯町	水彩画講座1、2、3	○	七飯町文化センター
南茅部町	絵画教室	○	町福祉センター（文化祭）
八雲町	公民館生涯学習講座：絵画教室	○	町公民館（文化祭）
樫法華村	趣味講座：柄つけ教室	×	

ール、市立博物館（函館市）、デパート（戸井町）、町文化センター（七飯町）、町福祉センター（南茅部町）、町公民館（八雲町）などと、公的な施設がほとんどであったが、住民が鑑賞しやすい場を意図的に設定していることが伝わってきた。市町村によっては施設がらみの事情などで開催が困難なところもあると聞かすが、絵画のように学習成果として作品が完成する講座は、終了後、点検評価や住民に鑑賞の場を提供する観点からも、可能な限り発表の場をつくることが望ましい。渡島支庁管内では13講座のうち、77%の10講座が発表の場を持っていたことは高く評価できる。

(2) 檜山支庁管内

講座終了後の作品発表会開催の有無については表9-2のように3町5講座のうち江差町の3講座のみが開催していた。会場は町文化会館であり、いずれも町の文化祭時に発表している。このように文化祭時に講座の成果を発表する方法は、おそらく絵画部門以外の展示部門も設けられていると思うので、多くの住民の目に触れる格好の場となり大変効果的な発表形式といえる。講座の完結時期にもよるが、他町も参考にしたいであろうか。

表9-2 檜山支庁管内3町での講座終了後の作品発表会の有無と会場

市町村名	講座名	発表会有無	会 場
厚沢部町	絵手紙	×	
江差町	シニアレッグ講座：水彩画機コース	○	町文化会館（文化祭）
	シニアレッグ講座：墨絵入門	○	町文化会館（文化祭）
	シニアレッグ講座：絵手紙	○	町文化会館（文化祭）
熊石町	絵手紙講座	×	

11. 受講者の負担金額と教育委員会の負担金額

(1) 渡島支庁管内

受講者の負担金と主催教育委員会の負担金額については表10-1のように講座を開設した8市町村13講座で、受講者負担の最高額は「トールペイント教室」（戸井町）の5,000円で、最低は「水彩画講座」（七飯町）、「絵画教室」（南茅部町）の2町が無料であった。「油絵教室」（上磯町）の個人で異なるとの回答以外の全体負担平均額は1,600円であった。

主催教育委員会の支出経費については最高額は「油絵教室」（上磯町）の165,000円で、最低は「色を作って絵を描こう」、「植物画を描こう」（いずれも函館市）、「絵画教室」（八雲町）の1市1町が無料であった。8市町村の全体支出経費平均額は49,690円であった。

(2) 檜山支庁管内

受講者の負担金と主催教育委員会の負担金額については表10-2のように講座を開設した3

町5講座で、受講者負担の最高額は「絵手紙講座」(熊石町)の3,500円で、最低額は「水彩画体験コース」,「墨絵入門」,「絵手紙」(いずれも江差町)が無料であった。全体負担平均額は900円であった。

主催教育委員会の支出経費については最高額は「墨絵入門」,「絵手紙」(いずれも江差町),「絵手紙講座」(熊石町)の50,000円で、最低額は「絵手紙」(厚沢部町)の20,000円であった。3町5講座の全体支出経費平均額は40,000円であった。

表10-1 渡島支庁管内8市町村での開設講座受講者の負担金額と教育委員会の支出経費
単位：円

市町村名	講座名	自己負担金額	教育委員会支出経費
函館市	小学生の絵画教室	3,000	97,208
	スケッチと版画教室	3,000	72,208
	色を作って絵を描こう	200	0
	植物画を描こう	2,500	0
上磯町	油絵教室	個人で異なる	165,000
知内町	公民館講座：油絵教室	1,500	16,000
戸井町	公民館講座：トルバイト教室	5,000	84,000
七飯町	水彩画講座1、2、3	0	60,000
南茅部町	絵画教室	0	42,000
八雲町	公民館生涯学習講座：絵画教室	3,000	0
楳法華村	趣味講座：柄つけ教室	1,000	10,175

表10-2 檜山支庁管内3町での開設講座受講者の負担金額と教育委員会の支出経費
単位：円

市町村名	講座名	自己負担金額	教育委員会支出経費
厚沢部町	絵手紙	1,000	20,000
江差町	シニアカレッジ講座：水彩画体験コース	0	30,000
	シニアカレッジ講座：墨絵入門	0	50,000
	シニアカレッジ講座：絵手紙	0	50,000
熊石町	絵手紙講座	3,500	50,000

講座の内容・期間，教材費，講師料，会場費などがそれぞれ異なるので，数字だけで単純に比較はできないが，講座の参加者増や活性化，開設間口を拡大する観点からもできるだけ受講者の負担額を軽減する対策は必要と考える。

12. 教育委員会が講座を企画する時の課題

(1) 渡島支庁管内

「絵画関係」の講座を企画・開設する時に一番苦慮することはとの質問に対して3町1村から次のような意見が寄せられた。『講師，報酬費（日数による），参加者の確保等』（木古内町），『講師の確保等』（八雲町），『人数が集まらない。毎回同じ生徒である事が多い』（上磯町），『参加者からは参加料を頂いて開催しますので，参加料金相当の充実した内容での指導と，作品の出来上がり具合には気がつかいます』（楳法華村）。

2町が指導講師と参加者の確保が課題になっていることがわかった。1町は報酬費の課題が挙がってきた。これらは，意見が寄せられなかった市町村でも共通の課題といえそうだ。楳法華村からの意見のように，参加者の作品の出来具合に気配りをしながら講座を開設していることは，住民側からすると大変ありがたいことで制作への励みにもなり，講座をさらに発展継続させる要因として大切なことだと考える。

(2) 檜山支庁管内

「絵画関係」の講座を企画・開設する時に一番苦慮することはとの質問に対して5町から次のような意見が寄せられた。『専門講師の確保』（厚沢部町），『①資材，用具等の用意②講座レベルの設定③受講料の設定』（今金町），『特別展示を行ないたいが，作品の保安や展示パネル等専用物品がないので開催を見合わせている』（瀬棚町），『絵画について，どの程度興味関心があるのかの把握が難しい』（江差町）。

渡島支庁管内と同様，講師確保の課題も出されたが，各町での事情の違いも浮き彫りになった。2町から資材，用具，展示専用パネルなど，ある意味では物理的な要因の課題が挙げられたが，中期・長期的な講座開設計画が策定できるのなら，教育委員会として年次計画で公民館などの備品として購入していく方策がとれないものか。講座だけの専用備品購入となると厳しいと思われるので，講座以外の展示会企画など多目的に活用できる形を工夫できると良いのではないかと。2町から講座レベルの設定，絵画についての興味関心度などの課題が挙げられた。方法はいろいろとあると思われるが住民のニーズを聞き取る機会をできるだけ多く作ることで把握するしかないのではないかと。受講料の設定は個人負担部分と教育委員会負担とのバランスで考えることになろうが，他市町村での情報も参考にして設定してはいかがだろうか。

13. 平成12年度に開設または予定の「絵画関係講座」

(1) 渡島支庁管内

平成11年度に開設した市町村で，平成12年度に開設または予定している「絵画関係講座」については表11-1のように函館市の「小学生の絵画教室」，「スケッチと版画教室」，「色を作って絵を描こう」，「植物画を描こう」，上磯町の「油絵講座」，七飯町の「水彩画講座」，南茅部町

の「絵画教室」、八雲町の「公民館生涯学習講座：絵画教室」、椴法華村の「趣味講座：ガラス絵教室」の9講座であった。9講座のうち前年度同様の講座を継続するものが8講座、新規に講座を開設するものが1講座（椴法華村：ガラス絵教室）であった。平成11年度開設しなかったが平成12年度新たに講座を開設したところは恵山町の1講座（水墨画）であった。平成11年度開設実績の13講座から10講座に若干目減りしたのは残念なことであるが、恵山町の「水墨画」講座新規開設は喜ばしい。

(2) 檜山支庁管内

平成11年度に開設した町で、平成12年度に開設または予定している「絵画関係講座」については表11-2のように厚沢部町の「絵手紙」、江差町の「絵手紙」、熊石町の「油絵講座」の3町3講座であった。平成11年度開設しなかったが平成12年度新たに講座を開設したところは上ノ国町の1講座（油絵講座）であった。平成11年度開設実績の5講座から3講座に減ったのは残念なことであるが、上ノ国町の「油絵講座」講座新規開設は喜ばしい。

**表11-1 渡島支庁管内市町村で平成12年度開設
または予定「絵画関係講座」**

***新規講座名**

市町村名	講座名
函館市	小学生の絵画教室
	スケッチと版画教室
	色を作って絵を描こう
	植物画を描こう
*恵山町	*水墨画
上磯町	油絵講座
七飯町	水彩画講座
南茅部町	絵画教室
八雲町	公民館生涯学習講座：絵画教室
椴法華村	*趣味講座：ガラス絵教室

**表11-2 檜山支庁管内3町での平成12年度開設
または予定「絵画関係講座」**

市町村名	講座名
厚沢部町	絵手紙
江差町	絵手紙
*上ノ国町	*油絵講座
熊石町	油絵講座

Ⅳ ま と め

以上、平成11年度の渡島支庁管内17市町村と檜山支庁管内10町教育委員会主催の「絵画関係講座」実施についての調査結果を報告し若干の考察を試みたが、今回の調査から次のことがいえそうだ。

(1) 市町村教育委員会主催で開設していた「絵画関係講座」は渡島支庁管内17市町村で8市町村（40.1%）、檜山支庁管内10町で3町（30%）と、渡島支庁管内の開設状況が檜山支庁管内

の開設状況を10.1%上回っていることがわかった。平成10年度に調査（平成9年度結果）した空知支庁管内市町村では44.4%，平成11年度に調査（平成10年度結果）した留萌支庁管内では33.3%，宗谷支庁管内では30%であったので，開設状況の平均パーセントを見る限り今までの調査では道央圏（空知支庁管内），道南圏（渡島支庁管内，檜山支庁管内），道北圏（留萌支庁管内，宗谷支庁管内）の順になった。この調査結果だけでは，軽々に結論は出せないが道央圏と道南圏とにはやはり地域差があることがはっきりした。開設状況はけっして活発ではない。開設しなかった町からの回答の主な理由として，渡島支庁管内では①住民の声がない②絵画サークルが活動している③過去に開設している④平成12年度は実施していることなどが挙げられた。①については例えば教育委員会主催で絵画関係の展覧会を企画・開催（道内公募展移動展，グループ展などの誘致など）して，住民に鑑賞の機会を提供するのも一つの啓蒙活動になるのではないか。動機づけにつながれば「絵を描きたい」との声が出てくると思う。②についてはサークルの会員同志で研鑽しあいサークルのレベル向上，活発化を望みたい。③については継続できなかった事情や理由があるとは思われるが，過去に開催した講座内容にプラスαの付加価値を工夫して，できれば発展的に展開していったほしい。檜山支庁管内では①学習要求がない②指導者がいない③受講者の経費負担が多い④サークル活動を支援している⑤他の分野の講座を行っていることなどが挙げられた。①については渡島支庁管内と同様な課題である。教育委員会から住民への興味や関心を引き出す働き掛けを根気よく続けてほしい。②については近隣市町村に在住する専門家や美術分野の教員（現職，退職）に協力を得て広域的なネットワークづくりを推進するのも一つの方策ではないか。ボランティア的な人材登録制度などの推進も考えられる。③原則は受益者負担が望ましい。教育委員会の支出経費とのバランスの中で考えていくことが必要である。民間の文化教室会費より多くならないようにはしてほしい。④活動に弾みがつくような具体的な支援をしていただきたい。例えばサークル活動に補助金を出す，展覧会の場を提供する，作品を買い上げるなどが考えられる。⑤については講座の幅が広がることにつながるので良いことだと考える。

各市町村で抱える課題は多いようであるが生涯学習の啓蒙運動の推進，住民の「趣味的なもの」への興味や関心意識の把握，指導者の確保，指導者の育成などの重点課題を住民と教育委員会とが協力し知恵を出しあって解決いかなければならないと考える。

(2) 講座の受講者を見ると予想されたことではあったが，今回も受講者の男女の比率は渡島支庁管内では男性が18.5%，女性が81.5%，檜山支庁管内では男性1.8%，女性98.2%で2支庁管内で圧倒的に女性が多かった。年代層では渡島支庁管内では40代から70代までが全体の66.7%，檜山支庁管内での同代は94.5%であり，中年層から熟年層にかけての受講者が多くなっている。以前の空知支庁管内，留萌支庁管内，宗谷支庁管内の調査でもほぼ同様な結果となっていた。高齢化社会を迎えた時代に幅広く趣味的なものや健康・体力づくりなどの学習を通して，自らが楽しく人生を豊かに過ごすことはすばらしいことである。有効に時間を活用して潤いのある生活を送りたいものである。ともあれ男性の講座参加者を増やす方策，検討が急がれる。

(3) 前2回の調査結果と同様に、指導者不足、指導者確保の問題が2支庁管内とも浮き彫りになった。特に絵画関係の講師については札幌市内、石狩圏を中心として道内市部に専門家が集中している傾向にあるのが実態である。渡島支庁管内では函館市と一部の町部を除いて厳しい状況にあることがわかった。檜山支庁管内での講座開催地には地元専門家がいなくて退職教員、現職教員を講師に招いての講座を開設していたが、いずれも地元の方と推測した。専門家ばかりに眼を向けなくて退職教員、現職教員を講師に依頼するのは良い方策だと考える。地元の小学校、中学校、高等学校を含め、美術科関係教員の理解と協力を得られれば、関係講座は活発になるのではないかと。すでに述べてきたことだが、近隣市町村での講師相互交流ネットワークづくりを推進していただきたい。それが広域的な講師人材バンクづくりにつながれば、主催する教育委員会として講座企画に積極的に取り組みができると思う。

第2報でも提言したが、教育委員会に講座等を含め各種の生涯学習関係事業を企画・立案、組織・運営、管理・評価ができる専門職員の配置を強く望みたい。

(4) 平成11年度に絵画関係講座を実施した市町が2支庁管内合わせて18講座であったが、平成12年度に継続して開設していたのは渡島支庁管内の9講座、檜山支庁管内の3講座の計12講座であった。新規に開設した町は渡島支庁管内では恵山町の「水墨画」、檜山支庁管内の上ノ国町の「油絵講座」の2講座であったので計14講座になった。4講座が減ったが、いろいろな事情があったに違いない。ただ、新規開設が2町あったことは喜ばしい。ぜひ次年度へ継続させてほしい。

(5) 限られた項目ではあったが、今回は平成12年度の渡島支庁管内と檜山支庁管内市町村教育委員会主催の絵画関係講座開設についての状況を調査することができた。平成9年度の空知支庁管内の結果(平成10年度調査)、平成10年度の留萌支庁管内、宗谷支庁管内の結果(平成11年度調査)と合わせて、これで道央圏、道北圏、道南圏の5支庁管内71市町村の現況を知ることができた。前回同様、道央圏との地域差があることが明確になった。いずれにしても貴重なデータを得ることができた。

平成8年度に北海道が生涯学習推進施策として方向性を示した「学習意欲を充実させることのできる、より幅広い学習の機会の提供」に文化関係での趣味を豊かにする視点から絵画関係講座が、道民に対してどのように機能していくのか、また自治体の生涯学習担当部署がどのように住民に対応していくのが好ましいかなどの分析の基礎資料とさせていただきたい。

本務多忙な折り、快くアンケート調査にご協力いただいた渡島支庁管内と檜山支庁管内の27市町村教育委員会生涯学習担当部署に心から感謝とお礼を申しあげる次第である。

参考文献

- 1) 野崎嘉男・藤原 等：北海道における生涯学習の取り組み(1)、北海道女子大学短期大学部研究紀要、第34号、137～138、1998。
- 2) 藤原 等・野崎嘉男：北海道における生涯学習の取り組み(2)、北海道女子大学短期大学部

研究紀要，第34号，149～162，1998，

3) 北海道教育委員会：生涯学習意識調査結果(抜粋)

4) 野崎嘉男：平成9年度の空知支庁管内市町村教育委員会主催の「絵画関係講座」に関する調査，北海道女子大学短期大学部研究紀要，第36号，73～86，1999，

5) 野崎嘉男：平成10年度の留萌支庁管内・宗谷支庁管内市町村教育委員会主催の「絵画関係講座」に関する調査，北海道女子大学短期大学部研究紀要，第38号，67～80，2000，

6) 野崎嘉男：「生涯学習体験実習」集中講義録 地域の各種生涯学習施設について，2000，